

指定管理者評価シート

事業名	特別養護老人ホーム	所管課(電話番号)	保)介護保険課(211-2972)
-----	-----------	-----------	-------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市稲寿園	所在地	手稲区曙5条2丁目2-21
開設時期	昭和47年1月(平成6年3月改築)	延床面積	3,752.25㎡
目的	老人福祉法に規定する特別養護老人ホーム入居の措置、通所介護及び短期入所生活介護に関する事業を行うほか、介護保険法の規定による、介護老人福祉施設サービス、通所介護、短期入所生活介護、介護予防通所介護及び介護予防短期入所生活介護のサービスを提供する。		
事業概要	利用者の処遇		
主要施設	事務室、宿直室、相談室、浴室、厨房、食堂、デイルーム、静養室、医務室、機能訓練士室、居室(1人部屋10室、2人部屋42室、4人室4室)、整容室、		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 札幌慈啓会		
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員との間に継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理者が変更されると、稲寿園の管理運営に支障をきたす恐れがあるため非公募としている。		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	(1)施設維持管理業務 (2)老人福祉法に規定する特別養護老人ホーム入居の措置に関する業務、通所介護、短期入所生活介護に関する業務 (3)介護保険法に規定する介護老人福祉施設サービス、通所介護、短期入所生活介護、介護予防通所介護、介護予防短期入所生活介護サービスの提供		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和4年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1)統括管理業務	▽ 管理運営に係る基本方針の策定 法人の経営理念である「共生(ともいき)」および当園の施設経営理念に基づく運営を行い、利用者及び家族に対して安心かつ快適なサービスを提供できる施設づくりを目指している。 地域における社会資源の一つとして、多種多様な地域のニーズに可能な限り対応し、求められる施設づくりに努めていく。	研修・情報共有会議等を通じて、継続的に理念の周知を図り、利用者及び家族に満足される処遇に努め、地域に根ざした取り組みを行うことが出来た。	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A</td> <td style="width: 25%; background-color: yellow;">B</td> <td style="width: 25%;">C</td> <td style="width: 25%;">D</td> </tr> </table> 要求水準に基づき、適切な管理運営がなされている。	A	B	C	D
A	B	C	D				

<p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>施設における平等利用に関する規定を設け、施設への入居に係る待機者の緊急度ランクや、入居決定の順番については、札幌市の定める指針に則り、第三者を交えた検討委員会を毎月開催して厳正かつ平等に判断をしている。</p> <p>また、入所対象者が原則要介護3以上であることを踏まえ、適宜、説明を行い、定期的に待機者の現状確認を含め長期待機者へのフォローアップもやっている。</p>	<p>毎月の入所検討委員会により迅速に入居希望者の待機ランクを決定し、申込者へ通知した。長期待機者の状況確認や新規申込者への説明も随時、実施した。</p>
<p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>法人としての取組を周知するための「札幌慈啓会の環境マネジメント」を回覧するとともに、外部研修に当施設の職員を出席させるなど省エネルギーに対する職員の意識向上に努めている。</p> <p>具体的な実践として、ゴミの分別を徹底し、生ゴミ、ダンボール・古紙や使用済トナー、インクカーリッジ等の回収も徹底して行っている。</p> <p>またOA機器の節電・休止モードの活用のほか、事務用品や洗剤は詰替え可能な製品を購入し、コピー用紙、プリントナーは再生品を使用している。</p> <p>5月から10月にかけては「クールビズ」を実施し、空調の調整も行っている。</p>	<p>職員全体への環境配慮への意識向上を継続的に図り、理解度を増している。今後も継続した行動ができるよう周知徹底していく。</p>
<p>▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)</p> <p>施設長をはじめとした役職者の大幅な人事異動があり新たな体制の中、職員間の連携、人材育成が円滑に進むよう、組織全般の見直しや強化・情報の共有に取り組んだ。</p>	<p>管理運営組織の確立及び従事者の確保を図ることができた。</p>
<p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組</p> <p>役職者の定期的なミーティング、管理運営上の問題点や課題、コロナ対策に対する協議を行い、これに基づく運営の円滑化を図った。</p> <p>また、利用者の個々の状況・要望に沿った質の高いサービスを提供するため、定期的なカンファレンスを実施し、職種、職員間での情報共有及び連携に努めた。</p>	<p>管理面での課題に適切に対応するとともに、利用者の日常生活状況や要望を職種間で情報共有し、よりきめ細かなサービスやケアの提供に結びつけた。</p>
<p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)</p> <p>第三者による委託業務等については特に問題なく履行されたことを点検確認した。(主な委託業務としては、給食・清掃・洗濯業務、ボイラー保守点検、消防設備保守点検、エレベーター保守点検、自動ドア保守点検等)</p>	<p>委託業務については、各業務の見直し等を含め、適切な管理を実施できた。</p>

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
3月に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染予防の観点から会議を中止し、協議会メンバーによる書面開催とした。	コロナ禍により園と地域との直接的な連携ができない中だったため、園の運営状況及び次年度以降の取り組みについてをまとめ資料として配布した。
＜資料を配布した協議会メンバー＞	
地元町内会役員、さわらび幼稚園、福まち、利用者代表(ボランティア含む)、手稲第二地域包括センター、札幌市	

地域関係者へ札幌市稲寿園として「地域貢献のあり方」についてより理解を深めて頂くことができました。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

・資金管理については、事業ごとの区分経理を実施しており、公認会計士による外部会計監査を導入している。

・現金等の取扱いについては、経理規程を整備しており、小口現金は日々の業務終了時に残高金種別表を作成している。また、預金に関しては施設口座とは別に利用者負担金等利用料入金口座を設け、管理の徹底を行っている。

財務(資金管理・現金の適正管理)については、適正な管理が実施できた。

▽ 要望・苦情対応

・苦情、要望については随時受付を行う体制を作り、受付窓口、受付者、解決責任者等の情報を重要事項への記載や、施設内の掲示、ホームページへの記載等によりわかり易く明示している。

・直接の申し出だけではなく、「意見箱」を施設内3ヶ所に設置して気軽にご要望を聞き取れる体制を整えている。

・内部での会議のほか、法人本部で「苦情解決第三者委員」を交えた検討会議を開催している。

・直接、申出者に解決方法を掲示できない場合(匿名、投書、メールなど)、専用の掲示板に貼りだすこととしている。

・令和4年度の苦情は、施設サービス関連、在宅サービス関連ともに各1件であった。

今年度苦情が施設サービス関連、在宅サービス関連ともにあったため、施設内で再発防止についての会議を行った。また、研修等に職員が参加することによって意識向上に務めている。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

・入居者および利用者へのケア内容、家族、関係機関等との連絡調整や相談対応を行った記録を各職種、部署ごとに整備している。

・年度ごとの事業計画書、事業報告書を作成している。

・「情報公表制度」のほか、関係団体等を通じて広く施設の処遇、サービス内容等の公開を実施している。

自施設のサービスについて、常に客観的な視点での評価が必要なため、毎年度、自己評価や情報公開を行い、評価内容を開示した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者に対する満足度アンケートを行い、その結果は掲示および郵送等により入居者、家族へご報告している。 	<p>アンケート結果については、職員にも閲覧し、意見や要望を周知させ、施設内会議において検証を行い質の向上に向けた取り組みを実施した。</p>									
<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設で働く職員に対し、最低賃金920円(令和2年10月3日発行)を上回る1,020円以上の時給を支給した。 ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜業をさせた場合、それぞれ法定割合の割増賃金を支払った。 ・施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間を順守するとともに時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ・全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ・労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。 ・雇入れ時に、健康診断を実施するとともに、毎年1回定期健康診断を実施している。深夜業に従事する労働者には、6か月に1回の定期健康診断を実施した。 ・労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ・指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。 ・労働安全衛生法に基づき、衛生委員会を毎月1回開催(感染症防止のため、書面開催)するとともに、法人によるストレスチェックを実施し、面談等窓口を設置した。 	<p>法令順守に努め、夜勤業務のある職員へは腰痛検査に重点を置いて健康診断を行った。 パートタイム雇用の職員が、勤務形態や雇用状況が変更になる都度、社会保険や雇用保険の加入要件に適合するか確認を行った。 育児休業・介護休業を取得しやすい職場環境作りに努めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">要求水準に基づき、適切な管理運営がなされている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	要求水準に基づき、適切な管理運営がなされている。			
A	B	C	D								
要求水準に基づき、適切な管理運営がなされている。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「施設総合賠償保険」への加入と共に、入所者及び利用者の日常生活での安全を確保するため、生活環境の点検及び改善を行い、事故防止のための委員会を設置し、対策等を検討している。 ・事故防止対応マニュアルを適宜改訂し、職員に対する研修(年2回、感染症防止のため書面開催)を実施している。 ・非常時における緊急連絡網を整備し都度、見直しを行っている。 	<p>事故の発生防止はもとより、再発防止にも重点的に取り組み、対策検討に務めた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">仕様書に沿って、施設及び設備の維持管理を行っている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	仕様書に沿って、施設及び設備の維持管理を行っている。			
A	B	C	D								
仕様書に沿って、施設及び設備の維持管理を行っている。											

	<p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃・洗濯、警備、設備機器保守点検業務については、それぞれ委託業者により概ね仕様書どおり実施した。 ・修繕については、見積額が50万円以上の案件について、札幌市と協議を行い、少額又は緊急な案件については、法人経理規程に従って専門業者による修繕を実施した。 ・備品管理については、管理台帳を都度見直し、経理規定に則って処理している。 <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防計画、避難訓練マニュアル見直しの他、災害対応マニュアルの整備をおこなった。 ・夜間想定総合防災訓練と防災協会立ち合いのもと検証訓練を3月に実施した。 	<p>保守点検業務については適正に実施しているが、設備の老朽化に伴う修繕、更新については引き続き札幌市と協議を行っていきたい。</p> <p>今後も防災マニュアルを継続的に更新・整備するとともに、災害時における備蓄品の見直し、追加購入を継続したい。</p>									
<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 地域住民や学生・生徒に関する学習機会の提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉系学校等の実習生を受け入れた。 (社会福祉士実習: 2校4名) (介護職員初任者研修: 0校0名) (介護体験等実習: 0校0名) (認知症介護実践者・リーダー研修: 0校0名) <p>▽ 施設(老人ホームに関する情報収集及び提供業務)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月に入所者の身元引受人、家族に対し、アンケートを実施した。 <p>▽ 施設(老人ホーム)に関する市民の自主活動及び交流の支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣接する幼稚園との交流会(勤労感謝の日)を実施した。 ・施設車両にて、児童の登下校時に「青パト」活動を行った。 	<p>コロナ禍で万全の感染対策を施した上で、後進育成のために受け入れを行った。</p> <p>今後も施設の取り組みについて、ご家族様への説明等において丁寧な対応を継続していく。</p> <p>感染防止のため、幼稚園との交流活動は縮小して行われたが、今後は随時交流事業として多世代交流を行っていききたい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">事業計画に基づき、適切に実施されている。また、施設車両にて児童の登下校時に「青パト」活動を行っている点は評価できる。</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	事業計画に基づき、適切に実施されている。また、施設車両にて児童の登下校時に「青パト」活動を行っている点は評価できる。			
A	B	C	D								
事業計画に基づき、適切に実施されている。また、施設車両にて児童の登下校時に「青パト」活動を行っている点は評価できる。											

	<p>▽ 施設(老人ホームに関する相談業務)</p> <p>入居者、利用者、家族からの相談については随時対応している。</p>	<p>来園、電話の他、メールによる相談も受け付ける体制を整え、随時相談対応に取り組んでいる</p>																																								
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="389 443 975 745"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R3実績</th> <th>R4計画</th> <th>R4実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">特養居室</td> <td>件数(件)</td> <td>1140</td> <td>1200</td> <td>1223</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>32884</td> <td>35405</td> <td>34920</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>90.1</td> <td>97.0</td> <td>95.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">短期入所居室</td> <td>件数(件)</td> <td>238</td> <td>300</td> <td>259</td> </tr> <tr> <td>人数(人)</td> <td>1973</td> <td>2737</td> <td>2605</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>54</td> <td>75</td> <td>71.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 実績の件数および人数は、各年度の延べ数となっています。</p> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免22件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退所等により空床となった場合にも、迅速に新入所を受け入れられるよう、入所前面談を常時複数名確保した。 ・入院による空床を長期化しないため、入院者がいた場合にはこまめな状況確認を行い、迅速な対応が常時できるように努めた。 ・病院や老人保健施設、居宅支援事業所等との密な連携により協力体制を強化した。 ・関係事業所の他、新規開拓の事業所等への訪問を行い宣伝活動を行った。 			R3実績	R4計画	R4実績	特養居室	件数(件)	1140	1200	1223	人数(人)	32884	35405	34920	稼働率(%)	90.1	97.0	95.7	短期入所居室	件数(件)	238	300	259	人数(人)	1973	2737	2605	稼働率(%)	54	75	71.4	<p>入所、短期入所共に、クラスターが発生したものの昨年度よりも稼働率が向上した。利用促進の積極的な取り組みにより、空床期間を短縮できたこと、また待機者が増加したことが影響している。</p> <p>コロナ禍の中、感染症対策のため、交流事業を行うことが出来なかったが、対面以外の連携については通常通り行っており、情報交換等をこまめに行うことが出来た。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>新型コロナウイルス感染症の影響もあった中、実績を計画に近づける努力をした点は評価できる。新型コロナウイルス感染症の流行状況も注視しながら、今後、稼働率の向上に努めてほしい。</p>	A	B	C	D				
		R3実績	R4計画	R4実績																																						
特養居室	件数(件)	1140	1200	1223																																						
	人数(人)	32884	35405	34920																																						
	稼働率(%)	90.1	97.0	95.7																																						
短期入所居室	件数(件)	238	300	259																																						
	人数(人)	1973	2737	2605																																						
	稼働率(%)	54	75	71.4																																						
A	B	C	D																																							
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回広報誌「稲寿園だより」を作成し、関係団体、協力機関、身元引受人等に送付した。 ・施設内ホールに広報紙を置き、来園者の皆様に見ていただいた。 ・稲寿園パンフレットの更新 ・ウェブアクセシビリティについては、今後法人ホームページの更新時に対応する予定。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>(前回から継続指定のため、引継業務なし)</p>	<p>コロナ禍ではあったが、広報活動により地域や関係事業所へ施設の様子等について情報提供を行った</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>ウェブアクセシビリティに関する指針や評価表が未だホームページで公開されていない。その他については、仕様書の要求水準に基づいて業務を行っている。</p>	A	B	C	D																																			
A	B	C	D																																							
<p>2 自主事業その他</p>																																										
	<p>▽ 自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所者の社会生活の一環として、営利を目的とせず定価より安価な価格設定の飲料水自動販売機2台を設置している。入居者の好みや新商品を取り入れながら、時期に合わせた商品の入れ換えを行っている。 ・自動販売機を省エネタイプへ切り替えを行った。 	<p>今後も継続する。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>市内企業の利用及び福祉施策への配慮を行い、仕様書に基づき適切に実施している。</p>	A	B	C	D																																			
A	B	C	D																																							

<p>▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 障がい者授産施設への以下の発注・受入を積極的に行っている。 ・広報紙、封筒など印刷物作成依頼</p>	<p>今後も継続する。</p>										
<p>3 利用者の満足度</p>											
<p>▽ 利用者アンケートの結果</p>											
<p>実施方法</p>	<p>・令和5年1月に入所者の身元引受人、家族に対し、用紙記入方式で実施した。</p>	<p>・毎年アンケート形式での調査を実施しており、ご家族からの意見をいただくようにしている。アンケート結果については、施設内会議において検証を行うとともに周知を図った。結果と対応策等については、ご家族へ郵送にて返答した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1238 488 1286 499">A</th> <th data-bbox="1286 488 1334 499">B</th> <th data-bbox="1334 488 1382 499">C</th> <th data-bbox="1382 488 1430 499">D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" data-bbox="1238 499 1430 752"> <p>総合満足度、接遇に対する満足度ともに要求水準に達している。なお、アンケートの結果を受け窓口にベルを設置した点については評価できる。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	<p>総合満足度、接遇に対する満足度ともに要求水準に達している。なお、アンケートの結果を受け窓口にベルを設置した点については評価できる。</p>			
A	B		C	D							
<p>総合満足度、接遇に対する満足度ともに要求水準に達している。なお、アンケートの結果を受け窓口にベルを設置した点については評価できる。</p>											
<p>結果概要</p>	<p>調査対象者99名。回答者数74名。回答率 74.7%</p> <p>集計結果は取りまとめ、施設内にて回覧するとともに、施設内会議にて報告、周知を図る。併せて、運営協議会の資料として各委員へ配布した。また、ご家族へ結果と対応策等について郵送にて返答した。「普通」・「まあ良い」・「良い」の回答率について</p> <ol style="list-style-type: none"> ①職員の対応、言葉遣いについて 99% ②職員の説明の仕方、相談しやすい環境について 98% ③ご利用者の生活の満足度について 82% ④病気等の緊急時の対応について 95% ⑤面会について 75% ⑥ケアプランや計画書等の内容について 92% ⑦総合評価では、普通、満足、まあ満足の回答が、92% 										
<p>利用者からの意見・要望とその対応</p>	<p>・面会について、回数の増加・時間延長の希望や「触れ合うことができないのが残念」との意見があった。</p> <p>・面会方法は、シート越しの面会を継続した。</p> <p>・差し入れたものが本人に届かないことがあるという意見があったため、改めて施設内で周知するとともに、今後このようなことがないよう取り組んでいくことを返答した。</p> <p>・来園時、事務所内が忙しそうなお時には声をかけるのをためらってしまうという意見があったため、小窓前に呼び出しベルを設置した。</p>										

4 収支状況

▽ 収支 (千円)

項目	R4計画	R4決算	差(決算-計画)
収入	512,134	510,976	▲ 1,158
指定管理業務収入	512,044	510,851	▲ 1,193
指定管理費	0	0	0
利用料金	511,304	504,791	▲ 6,513
その他	740	6,060	5,320
自主事業収入	90	125	35
支出	497,134	529,089	31,955
指定管理業務支出	497,044	528,964	31,920
自主事業支出	90	125	35
収入-支出	15,000	▲ 18,113	▲ 33,113
利益還元	0	0	0
法人税等	0	0	0
純利益	15,000	▲ 18,113	▲ 33,113

▽ 説明

▼ 利用料金収入は、コロナクラスターの影響により特養はコロナ陽性者が入院となったこと、短期入所は入所者受入を中止したことで稼働が低下した。デイサービスは営業停止の期間があり、また利用者のキャンセル・自粛が発生し稼働率減となり、計画より6,513千円の減となった。

▼ その他収入は、補助金や受託事業収入に係る収入であり、今年度、物価高騰対策支援2,360千円(北海道)、食材費高騰対策支援1,228千円(札幌市)、コロナ対策支援1,275千円(かかり増し)、実習謝礼金90千円等あり、計画より5,320千円の増となった。

▼ 自主事業収入は、自動販売機電気代であり、計画との差額は、35千円増であった。

▼ 指定管理業務支出は、コロナクラスターと物価高騰の影響により、事業費(保健衛生費・消耗品費・水道光熱費等)の支出及び事務費(旅費交通費・消耗品費・その他委託費等)の支出が増加となりました。それにより計画より31,920千円の増となった。

▼ 自主事業支出は、自動販売機使用料であり、計画との差額は、35千円増であった。

▼ 収支は、差引き▲33,113千円の差額が生じた。

収入の利用料金減額分としては、コロナクラスターの発生により入院や営業停止等で特養・短期入所・デイサービスの、稼働減の期間があった。支出増額部分としては、感染予防対策費(検査キット・マスク等の物品購入)、感染対応経費(ホテル宿泊代、医療廃棄物処理代等)の支払と物価高騰の影響により、電気・ガスの公共料金が値上げとなり、支払額が増加となったことが大きく影響したと考えられる。

今後について、稼働に関しては計画どおり進捗できるように、他事業所との連携を一層強化し入退所の管理、入院者の情報取等積極的に行う。また営業活動を積極的に展開し、新規利用者の獲得により安定した稼働を目指す。経費に関しては、物品購入節約を行ない、併せて節電を図り支出の負担増を抑えるように取り組む。

A	B	C	D

新型コロナウイルス感染症の影響で稼働率が低下したことにより、収支が悪化しているためやむを得ないと考えられる。今後は、新型コロナウイルス感染症の影響も考慮した収支計画を立て、改善に努めてほしい。

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持

- ・法人の経営理念「共生」及び当園の施設経営理念、方針に基づく円滑な運営に努め、質の高いサービス提供を行う。
- ・利用者及びご家族に対して快適かつ安心で安全なケアやサービスを提供する施設環境を整備することによって満足度を高める。
- ・各利用率、利用者数の維持・向上に努め、安定的な経営を維持する。

適	不適

<p>▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応</p> <p>・個人情報保護条例及び情報公開条例については、法人において個人情報保護規則、情報公開規程を整備しており、暴力団の排除の推進に関する条例については基本理念にのっとり、暴力団員または暴力団関係事業者を相手にしないよう取り組んでいる。</p>		<table border="1"> <tr> <td style="background-color: yellow;">適</td> <td>不適</td> </tr> </table>	適	不適
適	不適			

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>令和4年度は春から数回にわたるコロナウイルスによるクラスターの発生があり、その感染対策等に追われた状況となった。</p> <p>クラスター時は入居者の多人数の入院及びショートステイの入退所停止、職員等の感染によるデイサービスセンターの休止等により、稼働が大幅に落ち込み歳入に影響を及ぼした。また、居室のゾーニングや職員の勤務体制による必要物品について衛生用品等に次ぐ経費が掛かり、収支差額では大きなマイナスとなった。</p> <p>年明けからは施設内も落ち着き始め、豆まき、ひな祭りと園内行事も安全確保をしながら実施となり、その写真を利用者や利用者やの族に近況、活動内容として報告することにより喜んでいただき、併せて関係事業所等への事業活動を情報提供することにより、稼働が戻ってきた状況となり、次年度への継続を回るため関係者へさらに広く情報提供を行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化している設備について、計画的に更新できるように市と協議を行う。 ・指定管理施設としての使命感等について職員に啓発を行い、利用者の個性を重視し、安らぎと喜びに満ちた生活が送られるよう最大限努力する。 ・収支バランスのとれた運営を行い、黒字化に努める。 ・感染対策の緩和、コロナ感染症の5類引き下げにより、施設のマスク着用や消毒等に係る感染対策に変わりはないが、利用者家族の面会要望に応え面会方法等を緩和したり、利用者に喜んでもらえるよう、介護者との接触がある行事の復活や充実を行い、介護事業所としてのサービス提供の向上に務める。 ・新たな期間の指定管理者として、協議・仕様に基づき、重要事項は市との協議を怠ることなく、その使命感を職員全員で共有し「サービスの質と稼働の両立」をスローガンに「成長体質のある選ばれる施設」を目指す。
<p>施設理念に基づき、施設運営を適切に行い、必要な情報を職員に還元し、サービスの質の向上に努めている。一方で、ウェブアクセシビリティの取り組みなど、一部要求水準に満たない事項があったため、改善に努めてほ</p>	<p>ウェブアクセシビリティに関する指針や評価表が未だホームページで公開されていないため、早急に公開するよう指導した。</p>